

試合番号 : 171		試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)				観客数 : 1,227	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:37		試合時間 : 02:37		主審 : 森口 豊	
副審 : 中口 岳		サントリーサンパーズ		ウルフドッグス名古屋		通算 9勝 6敗 ポイント : 26	
通算 11勝 4敗 ポイント : 28		25 第1セット 23		2		監督コメント	
監督コメント		3		23 第2セット 25		お互いに非常に高いレベルの試合だったと思います。選手はやるべき事をしっかりと理解し、1球1球諦めずにボールを繋ぐことで素晴らしい試合を展開できたと思います。これからの時間を有効に活用して、明日の試合に向けて準備していきたいと思えます。本日の試合もたくさんのウルフドッグス名古屋のファンの方々に応援して頂きました。本当に感謝しております。これからも皆さまに感動を与えられるようなプレーを心掛けますので、共に戦いましょう。Unite as One!	
25 第3セット 19		23 第4セット 25		15 第5セット 13		要約レポート	
2022年最初のホームゲームとなるサントリーサンパーズと天皇杯優勝で波に乗るウルフドッグス名古屋の一戦はフルセットにもつれる大接戦の末、サントリーサンパーズが勝利した。第1セット、サントリーは復讐戦となるムセルスキーがブランクを感じさせない強力なスパイクを次々と決め、セットを先取る。第2セット、WD名古屋はクレクが強烈なスパイクや2連続サービスエースでチームに勢いをつけ、さらには山崎、高梨がコースを狙ったスパイクなどで完全に主導権を握り、セットを取り返す。第3セット、序盤からサントリーが柳田の連続サービスエースなどで突き放すと、終盤では大宅の堅実なレシーブとトリッキーなトスワークで順調な試合運びを見せ、このセットを取る。第4セット、このままサントリーのペースで試合が進むように見えたが、WD名古屋はリベロ小川が粘り強いレシーブを見せ、会場を沸かせると、セッター永露が強気なトスワークで攻撃陣を操り、セットを取り返す。第5セット、WD名古屋が終盤まで優位に試合を進めるも、サントリーがボンのクイック、渾身のブロックでマッチポイントを取ると、最後はムセルスキーが鮮やかにサービスエースを決め、大接戦を制した。							
試合番号 : 172		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,266	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:20		試合時間 : 01:20		主審 : 服部 篤史	
副審 : 西山 尚幸		パナソニックパンサーズ		FC東京		通算 4勝 11敗 ポイント : 15	
通算 9勝 6敗 ポイント : 28		25 第1セット 18		0		監督コメント	
監督コメント		3		25 第2セット 18		本日のゲームは我々のオフェンスがパナソニックの手堅いサーブ、ブロック、ディフェンスに対し、なかなか機能させることができませんでした。明日はまずサイドアウトでゲームをしっかり作っていくことで、勝利を目指していきます。本日も応援ありがとうございました。	
25 第3セット 17		第4セット		第5セット		要約レポート	
前半戦を6位で折り返し、勝って後半戦につなげたいパナソニックパンサーズがFC東京を招いての一戦。第1セット、大竹の攻撃を皮切りに好スタートを切ったパナソニックは、小宮、仲本のアタックやブロックで得点を重ねる。セカンドテクニカルタイムアウト後も、山内、大竹のブロックが面白いように決まる。対するFC東京は、21-13で佐藤に代わりエスベホ、小田嶋に代わり武藤を投入するも、パナソニックがリードを保ちセットを取る。第2セット、FC東京は山田のブロックなどで、4連続ポイントでリードするが、パナソニックは、クビアクや大竹のアタックで追いつき8-8まで追いつくと、勢いに乗り逆点してこのセットも取る。第3セット、パナソニックは第1第2セットの流れをそのままにリードを保つと、16-8で仲本に代わり大塚を投入。クビアク、大塚のアタックで得点を重ね、新年の幕開けはパナソニックが勝利を飾った。							
試合番号 : 173		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公苑第1体育館)				観客数 : 480	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:30		試合時間 : 01:30		主審 : 澤 達大	
副審 : 岡田 崇		ジェイテクトSTINGS		堺ブレイヤーズ		通算 12勝 3敗 ポイント : 35	
通算 8勝 7敗 ポイント : 24		17 第1セット 25		3		監督コメント	
監督コメント		0		21 第2セット 25		年始最初の試合にストレートという最高の形で勝利することができました。チームとしても、天皇杯で準優勝に終わった悔しい思いを、リーグ優勝で取り返すという決意を胸に、年末年始も練習に取り組んできています。また、昨日1月7日は松本慶彦選手の41歳の誕生日ということもあり、勝利で祝うことができて良かったです。本日は熱い応援をありがとうございました。明日もチーム一丸となって勝ちます。応援よろしくお願いします。	
22 第3セット 25		第4セット		第5セット		要約レポート	
年明けの初戦をホームゲームで迎えるジェイテクトSTINGSと首位を争う堺ブレイヤーズの対戦。第1セット、序盤は一進一退の攻防から堺は、ジェイテクト宮浦、フェリベの攻撃をブロックで阻み徐々にリードを広げる。終盤、ジェイテクトはフェリベのブロック、宮浦のバックアタックで応戦するが、堺は松本、バーノンのアタックが効果的に決まり、セットを先取。第2セット、第1セット同様に点を取り合う展開。終盤に堺は、樋口の強弱をつけた攻撃、高野のアタックでリードを広げる。ジェイテクトは、宮浦のバックアタックやサービスエースで2点差まで詰め寄るが、大事なところでミスが出て、セットを連取される。第3セット序盤、ジェイテクトは村山のブロックポイントでリードする。中盤、堺はバーノンの強烈なアタックやブロックで逆点。ジェイテクトは宮浦の攻撃、フェリベのブロックで追いつき逆点するも、堺は高野のブロックポイントから再びリードし、出田、深津のブロックポイント、最後はバーノンの強烈なアタックが決まり、堺がストレートで勝利した。							
試合番号 : 174		試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館)				観客数 : 1,800	
開始時間 : 14:30		終了時間 : 16:45		試合時間 : 02:15		主審 : 千代延 靖夫	
副審 : 國頭 亮太		JTサンダーズ広島		東レアローズ		通算 11勝 4敗 ポイント : 36	
通算 8勝 7敗 ポイント : 24		25 第1セット 14		2		監督コメント	
監督コメント		3		23 第2セット 25		明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。今日の試合は、藤井にアクシデントがあり、チームが上手く回りませんでした。この苦しい状況の中、後から出てくれたメンバーの活躍もあり、フルセットまで持ち込むことができました。この状況の中でも、いるメンバーでしっかりと勝利できるよう準備したいと思えます。本日は、沢山の応援ありがとうございました。	
25 第3セット 21		22 第4セット 25		15 第5セット 10		要約レポート	
新年あけましておめでとうございます。年明け最初の試合、地元広島で迎えられることを楽しみにしていました。第1セットのスタートを大事にしてアグレッシブに攻められたことがリズムに乗れた要因だと思います。また途中から出場した選手も、攻める気持ちを持ち続け戦ってくれました。明日も厳しい試合になると思いますが、全員で戦いたいと思います。ご声援ありがとうございました。		第1セット、序盤にJTサンダーズ広島の小野寺が3連続でブロックを決め大きくリードを広げた。中盤にも中島、エドガーのアタックで一気に突き放しにかかる。東レアローズは、李、パダル、手塚のアタックで粘りを見せるが、最後はJT広島の山本がアタックを決めて先取した。第2セット、JT広島のセッター金子がエドガーを中心にボールを集めた。それに対し東は、高橋、西本、パダルを中心に攻撃展開を繰り広げ、1点を争う攻防が終盤まで続いた。最後は、高橋がアタックを決めて混戦から抜け出し、セットを奪い返した。第3セット、JT広島が流れを変えようとセット中盤からセッターを合田に代え、多彩なトスワークでブロックを翻弄させた。しかし、東レ・パダルが強烈なサーブやアタックで襲いかかる。終盤にJT広島が、中島のブロックやエドガーのアタックで逃げ切り、勝利までの主導権を握った。第4セット、JT広島が小野寺のブロックとエドガーのアタックでリードしたが、東レのパダルが強烈なサーブと富田のアタックで追いつき互角の争いとなる。ここから高橋がブロックを決めて流れを掴み、最後はパダルがアタックを決めてフルセットに持ち込んだ。第5セット、両チームサイドアウトを繰り返していく。JT広島が金子の効果的なサーブからエドガー、小野寺、坂下のアタックで混戦から抜け出し、最後は中島がブロックを決めてホームゲームを勝利で飾った。					

試合番号 : 175		試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 907	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:25		試合時間 : 02:25		主審 : 林 淳一	
副審 : 平田 敬基		通算		2勝 13敗		通算	
大分三好ヴァイセアドラー		ポイント : 7		34 第1セット 36		VC長野トライデント	
<p>監督コメント</p> <p>今日はお忙しい中ご来場ありがとうございました。また、関係者の方々の皆様にはとても感謝しています。1セット目の劣勢な場面で大きなポイントを取り切れなかったのが敗因だと考えます。また、サーブもネットにかけてのミスが連続で続いてしまいました。今日の課題を明確にし、克服して明日は必ず勝ち切ります。明日も応援よろしくをお願いします。</p>		2		25 第2セット 20		<p>監督コメント</p> <p>明けましておめでとうございます。このコロナ禍で、大会の開催にご協力いただいている、すべての関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。天皇杯が終わり、ブレイク力の強化を中心にチーム力の底上げを図ってきました。その練習の成果が発揮され勝利を手にすることができました。今日出た課題を修正し、明日の試合も勝利できるよう、準備を行います。本日は応援ありがとうございました。明日も応援のほどよろしく申し上げます。</p>	
				25 第3セット 16			
				23 第4セット 25			
				13 第5セット 15			
				3			
<p>要約レポート</p> <p>リーグ後半戦になり、ホームゲームで勝って勢いをつけたい大分三好ヴァイセアドラーと、どうしても勝ち星が欲しいVC長野トライデントの対戦。第1セット、お互いに一歩も引かない激戦となった。山田、バグナスを中心に攻める大分三好に対してVC長野はリヴァンを中心に戦う。30点を超えるデュースになったが最後はVC長野・伊藤のブロックで先取る。第2セット、大分三好は井口の的を絞らせない配球で点差を拡げてそのまま奪取する。第3セット、大分三好は第2セットから途中交代した古賀の活躍で、序盤から点差を拡げて勢いにのると、そのまま連取した。第4セット、あとがないVC長野はリヴァンにボールを集め反撃する。大分三好も山田、古賀を中心に追いつけるが、VC長野が競り勝って勝負は最終セットへ。第5セットは、流れを掴んだVC長野がそのまま押し切り勝利した。VC長野は今シーズン初勝利となり嬉しい後半戦スタートとなった。</p>							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
ポイント :		-		第1セット		ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
				-			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
ポイント :		-		第1セット		ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
				-			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
ポイント :		-		第1セット		ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
				-			
要約レポート							